

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

2014

2月号

Vol.201

毎月1日発行

ゆるる

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

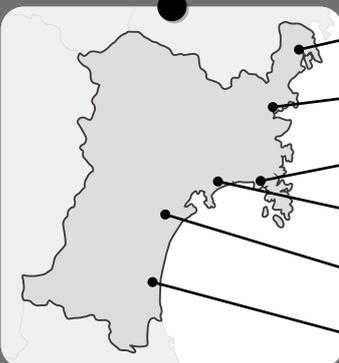
赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成事業



大人も子どもも障がいも、
隔たりなく生きられる
地域目指して!

(NPO法人なりわい舎)

特集 復興への道



| | |
|-----------------------|-----|
| NPO法人底上げ | P.2 |
| 一般社団法人南三陸町復興推進ネットワーク | P.3 |
| NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンター | P.4 |
| NPO法人なりわい舎 | P.5 |
| NPO法人ハーティ仙台 | P.6 |
| りんごラジオ | P.7 |

| | |
|------------------|---------|
| みやぎNPOプラザからのお知らせ | P.8 |
| 今月の助成金情報 | P.9 |
| Information | P.10-15 |

★子どもたちと 希望の未来を！★

●NPO法人底上げ

一月十三日の午後、気仙沼魚市場の会議室に、東京や地元の高校生六十五人が集まり、「私たちにできること」をテーマに交流会が開かれました。「全国、全世界から気仙沼に人を呼びたい」という気仙沼の高校生、「戻りたくても戻れない人がいる。だから、戻りたい人が戻れる環境を作りたい」と南三陸の高校生など、次々に熱い思いを込めた意見交換がされました。

この会を主催したのは、NPO法人底上げ。全国から気仙沼に来たボランティアに対してのコーディネート、気仙沼市内二か所で小・中・高校生がボランティアと一緒に勉強や交流を行う学習コミュニティ広場の運営、中・高生がまちづくりについて話し合い、実践していく「子ども会議」の開催などの活動を中心に、多方面にわたる復興支援活動をしています。

●●●震災で感じた微力な自分

東日本大震災が起きたとき、底上

げの代表理事の矢部寛明さんは早稲田大学の四年生。もともと縁があった気仙沼のホテル望洋に駆け付け、物資の配布や泥かきなどのボランティアを始めました。このとき東京を出るにあたって知人に寄付を呼びかけ、なんと二〇〇万円もの寄付が集まりました。借りたトラックいっぱいには物資を積んでも六十万円分が精一杯。「被災者に直接届けてくれ」という思いが込められた寄付でした。「自分が何としても届けなければ」と、内定が決まっていた企業への就職をも辞退し、改めて継続的に支援を続けていくことを決意しました。

四月十七日、齋藤祐輔さん（現副理事）や仲間たちとともに気仙沼に戻り、当時避難所となっていたホテル望洋を拠点に「底上げJAPAN」として活動を始めます。以来、物資の配布、避難所の運営、ボランティアの受け入れ、イベントの開催など、地域の要望に応えて様々な支援を行ってきました。

震災から半年が経っても復興が進

まない中、世間的には緊急支援が一段落。しかし、「被災地は忘れられないのではないか」という被災者の不安の声を聞き、矢部さんは「まだまだやる必要がある」と長期的な活動を決意します。同じく東京から来てボランティアを続けてきた成宮崇史さんを事務局長に迎え、法人化を検討。二〇一二年五月にNPO法人底上げが誕生しました。その後一年間で、のべ一〇一七人のボランティアを受け入れます。

●●●子ども会議の立ち上げ

二〇一二年八月からは、三十名以上の大学生ボランティアを呼び込み、地域で要望の高かった学習支援の活動を開始。以来、市内二か所の仮設集会所でのべ二一九六人の小中

高生の学習支援を行ってきました。その中で中高生の「町のために何かしたい」という思いを知りました。そして十月に「子ども会議が立ち上がります。会議では月に二回、観光やまちづくりをテーマに中・高校生が思いを共有しています。昨年一月には、子ども会議を契機に、ボランティアとして活動してきた大学生団体「底上げYOUNG」と高校生団体「底上げYOUTH」が誕生。

「底上げYOUTH」共同代表の気仙沼西高校三年の阿部愛里さんは、「底上げYOUTHに参加して、考えて行動できるようになった。気仙沼を日本一の観光地にしたい」と、多くの人を巻き込む活動を目指しています。

底上げの活動を続けるうち、ついには気仙沼市へ住民票を移した成宮事務局長はこう言います。「子ども達の自主性を大切にしながら、一緒に「恋人のまち気仙沼」を有名にしたい」。信頼関係を築きながら、子どもたちと育む夢の行方が気になります。



▶対等な目線で高校生と意見交換する矢部さん

NPO法人底上げ

〒988-0023 気仙沼市南ヶ丘1-2-12
●TEL/FAX : 0226-25-9670
●E-mail : info@sokoage.org
●URL : http://www.sokoage.org

寄稿

復興とまちづくりと 地域からいただいたもの



● 一般社団法人南三陸町復興推進ネットワーク
代表理事 及川博道さん

私たち一般社団法人南三陸町復興推進ネットワークは、南三陸町出身の二十〜三十代のスタッフを中心に（八名中六名が地元）に復興プロジェクトを運営・サポートする団体で、震災で激変した「ふるさと」の課題に対応するために活動しています。

震災直後から個人的に南三陸町内で行ってきた避難所運営、情報発信、地域内外をつなぐコーディネート業務などの様々なプロジェクト。それらを継続的な活動にすべく、震災から一年を経た二〇一二年三月十二日に二人の仲間とともに団体を創立しました。

現在は「若手世代のコミュニティ再生への貢献」、「教育を通じた「まちづくり」への貢献」、「新規事業の研究・開発」に関する事を領域として、地域住民の参画を募りつつ行っています。

具体的には、若手世代の人材育成とまちづくりへの参画機会の創出や地域振興を目的とした異業種勉強会の開催（十七回開催）、町内で開催されるイベント（福興市など）の支

援、志津川地区まちづくり協議会の事務局、WEBサイトでの町民ボランティアへの情報提供などの活動を行っています。

昨年末には、このような地縁的な市民参加による新たな社会の形成、そしてそれを基盤とした復興を目指す狙いを評価いただき、「第二回工クセレントNPO大賞」にノミネートされました。

●●●「まち」が教えてくれたこと●●●

「復興」「まちづくり」を考えるときに、団体内で共通項となっていることがあります。小学生の頃の放課後の記憶です。

たとえば私の場合、実家の近くの漁協と魚市場を結び交差点。そこは日々、地区の子どもたちが集まって、毎日のように鬼ごっこや草野球をする場になっていました。地区で最も交通量の多い交差点でしたが、通行する車もフォークリフトもわざわざ停止し、子どもの社会を尊重してくれていました。単純な経済合理性と

は少し違う「大人のすべきこと」を行動で教えてもらったと思います。
山、川、海。思い出の場所はそれぞれに違えど、他のメンバーも私同様、この南三陸の「まち」から多くのことを学んでいます。
しかし津波は、この貴重な人間教育の場も奪いました。

●●●地域一体で取り組む教育の場●●●

団体の主な活動の一つである「南三陸わらすこ探検隊」は、地域の歴史・文化を今の子どもたちに伝えるための場です。町民がボランティアで先生役をします。たとえば、町の魚屋さんから地元名産でもあるサケの生鮭を説明してもらいつつ、さばき方を習ったり、昔ながらの古民家で伝統工芸でもある繭細工作りを体



▶ まちの魚屋さんで魚のさばき方を習う小学生たち

験したり、地域とのつながりを持ってもらうことを意識しています。
わらすこ探検隊は不定期ながら、週末を利用し月平均二回以上開催しています。開始から一年半で、通算開催回数も六十回を越え、参加児童数は延べ一二〇〇人以上、各回平均参加者二十三名は町内全児童六五〇名の約四％にあたり、活動が浸透してきたことを感じています。

●●●「まち」をつないでいくために●●●

震災当時一年生だった長女は、今年、五年生になります。今の小学生は徒歩による通学が禁止されており、バスで登下校をしています。かつて地域の子どものたちが受け継いできた「小学生の放課後」を彼女たちの世代は知りません。微力ながらそんな途切れかけた「まち」をつなごうとした大人たちの姿に、いつか「大事なこと」に気づいてもええたら……。

それが連続と続く「まちづくり」であり、また「復興」の形のひとつなのだと信じて活動しています。

一般社団法人南三陸町復興推進ネットワーク
〒986-0728 本吉郡南三陸町志津川字天王山135
●TEL : 0226-25-9350
●FAX : 0226-25-9360
●URL : URL : <http://www.373net.org/>

神戸へ手向ける炎に

願う石巻の未来



●NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンター

一月十七日午前五時四十六分。石巻市、石ノ森萬画館そばの広場には、黙祷を捧げる人々の姿と『祈 神戸』の文字をかたどる無数のキャンドルがありました。

この催しは、十九年前の阪神淡路大震災の犠牲者を悼むとともに、東日本大震災で多くの支援を寄せた阪神地方の人々への感謝を示すため、石巻市で活動するNPO法人石巻スポーツ振興サポートセンター(以下、サポートセンター)が主催しました。二〇一二年から始まり、今年で三度目の開催となりました。

●●● 阪神を忘れたらあかん! ●●●

「一・一七阪神・淡路を忘れない、感謝と追悼の集い」と題されたこの催しには、石巻市内外から約三十名の市民が参加。

参加者は両震災の犠牲者へと黙祷を終えると、会場に用意された半紙へ各々思いをしたためました。「神戸のみなさんには、瓦礫の撤去などで大変お世話になりました。その感

謝の気持ちを書きました」と市内在住の男性参加者。

それぞれの思いが寄せられた半紙はその後、護摩焚きさながらに用意された焚き火の中へくべられました。

今回サポートセンターが阪神淡路大震災に合わせて準備したことは他にもあります。

一月十二日から十九日までの一週間、市中心部の商店街には神戸の街並みの定点写真が展示されました。この写真は三枚で一組、全部



▶黙祷を捧げる松村さん(左)と参加者

で四十二組。それぞれ震災直後、三年後、現在(二〇一三年時)の神戸が写っています。

「東日本大震災から三年。石巻の人たちに神戸の復興段階を見てもらって、勇気を出してほしかった。十九年かけて神戸もここまで復興した。オレたちもがんばっぺってな」と話すのはサポートセンター理事長の松村善行さんです。

●●● 立ち上げ、石巻市民! ●●●

「いつでも、どこでも、だれでも」スポーツを楽しめるまちづくりを掲げ活動を続けているサポートセンターは、震災後、被災した子どもたちにスポーツの機会を提供する『わんぱく復興プロジェクト』を中心に活動しています。また、『まちなか復興プロジェクト』の一環として、もともと市内各地を歩くグルメウォーキングも被災地の現状を知ってもらう復興ウォーキングへ置き換えました。

これらは現在、宮城県が派遣する三人の「復興応援隊」を受け入れての復興プロジェクト『元気な子どもたちの育成とにぎわいある故郷づくり』として動いています。

その中には市内の仮設住宅団地でのサロン開催支援も含まれます。主にはカラオケ機器の貸出しや生活不活発病予防のための運動プログラム

(ストレッチ体操など)の提供を行います。ただし、住民の自立を妨げるとの理由から、サポートセンターが主体的に動くことはせず、住民からの要請があった時だけ応じます。それでも月に十回以上は仮設に赴いている、と松村さん。

じつは震災前と比べて、市内のウォーキングに参加する石巻市民が減っているそうです。

「みんな震災の爪痕を見たくないんだ。オレも娘も、家を流された。だからその気持ちはわかる。でも、逃げていたら前に進めない。石巻の人間が自分の力で立ち上がって行かなくちゃなんねえ」

松村さんのその気持ちを代弁したのが、今回の「感謝と追悼の集い」であり、神戸の定点写真でした。

そして今、サポートセンターでは、石巻に明るさを取り戻すため、建設中の北上川堤防や商店街を花や緑で彩る『まちなかグリーンプロジェクト』を進めています。

NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンター

〒986-0822 石巻市中央2-10-13
 ●TEL/FAX : 0225-96-4334
 ●E-mail : info@i-support.or.jp
 ●URL : http://www.i-support.or.jp/

継 承

未来の子どもたちへ

● NPO法人なりわい舎

「障がいを持った自分の子どもが親亡き後、社会で就労し、生活しているのか、不安を感じたのが活動のきっかけです」と語るのは、東松島市大塩で活動するNPO法人なりわい舎代表の土井博貴さん。小学校四年生になる土井さんの息子さんは脳性麻痺を患い、車イスでの生活を送っています。

『生業』Ⅱ生きていくための仕事を身につけること。それが、なりわい舎の名前の由来です。障がい児・者が国の制度だけに頼らず、地域で助け合いながら、それぞれの能力を活かし、自分らしく、働きながら生活して行つてほしい。そんな思いのもと、昨年四月に土井さんは県内の福祉施設で働くかたわら任意団体を立ち上げ、六月にはNPO法人の認証を受けました。

すでに地域住民からも活動の趣旨へ賛同を得始めており、現在の会員数は十四名、ボランティアは約三十名です。

●●● 障がいの有無に関係なく ●●●

現在のなりわい舎の主な活動に、毎月第二・第四日曜日に大塩地区内で行っているゴミ拾いがあります。

去る一月十二日、今年最初のゴミ拾いが行われました。この日は約二十名の地域の親子が参加。子どもたちはお互いに声を掛け合いながら、藪の中の空き瓶やタバコの吸殻を拾い集めていました。大人たちは大人たちで、スコップを片手に道路の側溝に溜まった落ち葉掃除を担当しました。

また、地域住民から無料で借りている畑を使って行う農作業も活動の一つ。ここでは、やはり地域に住む農家の人に指導を受けながら野菜の収穫をしています。

なりわい舎の活動は障がいのある子どもとその親だけでなく、健常者の親子も参加していることに特徴があります。「今まで障がいのある子どもに、どのように声をかけていいかわからなかったけど、活動を通し

◀池に落ちている空き缶も見逃しません！



て自然と声を掛けられるようになってきた」という参加者の声もありました。障がいに対する知識がなくなるとも、一緒にゴミ拾いや畑仕事をすることで自然に距離が縮まっているのです。

●●● 次のミッションとは ●●●

先に述べた活動は、まだまだ助走段階。なりわい舎にはまず実現したいことがあります。

今はまだ、法人を設立して間もないことから、団体運営や制度についての勉強中ですが、今後の大きなミッションとして、障害者総合支援法に基づき、東松島市内で就労支援事業を行うことを目標に掲げています。

具体的には、障がいを持った子どもたちが、少なくとも将来一人暮

らしをしていくための給料が払えるだけの規模で、主に農業を中心とした六次産業を行う予定。その将来の青写真を達成するため、地域住民や他の団体と協力し情報共有をしながら、今からゴミ拾いなどの地道な活動を通して、基盤を固めていこうとしています。

●●● 子どもたちへの思い ●●●

「ありがとうー！」
「あまり無理しないでねー！」

ゴミ拾いの後、冷たい風の吹くなかでも思いやりに溢れた元気な声が響いていました。障がいのあるなしにかかわらず大人、子ども皆で汗を流して働くことによって支えあって生きていってほしい。なりわい舎の活動一つ一つにはそのような思いが込められています。

「明るく、楽しく、無理をせず」を合言葉に、地道にそして確実に、なりわい舎はこれからも活動していきます。

NPO法人なりわい舎

〒981-0505 東松島市大塩字緑ヶ丘3-18-10
●TEL : 090-2983-6114
●FAX : 0225-82-8881
●URL : <http://nariwaisha.web.fc2.com/>

女性たちの『声』を聴く

● NPO法人ハーティ仙台

東日本大震災からまもなく三年です。もう三年ではなく、まだ三年。被災地では、DV(家庭内暴力)などの問題がより深刻化しています。

二〇一二年、宮城県警へのストーリー相談件数は、過去最多を記録し、DV相談件数も前年から三十パーセント以上増加しました。二〇一三年には、さらに増加し、ストーリー相談が一一四六件、DV相談が二〇九二件、ともに過去最多を更新しています。

●●● 常にある問題 ●●●

NPO法人ハーティ仙台は、こうした暴力、特にDVや性暴力被害に悩む女性たちを支援しています。震災以降、ハーティ仙台が運営するDVや離婚について話し合う場『しんこきゅうタイム』への参加者も、震災以前の一・二倍に増えました。

しかし、震災はもともとあった問題を激化させている要因の一つで、本当は常に起きているという現実があります。以前から別居中だった夫

婦が津波で家や仕事を失って同居することになり再びDV状態になったケース、親族や知人が近くにいないなどDVが悪化したケース、その背景は様々です。

ハーティ仙台では、東日本大震災心の相談ホットライン・みやぎ(内閣府主催)、よりそいホットライン(厚生労働省主催)といった複数のフリーダイヤルに関わって、相談を受けています。

「相談件数が増えることは、良い事。相談しないケースこそが、事態の悪化が懸念される。話せることだと分かるように伝えて行かなければ」とハーティ仙台の代表理事八幡悦子さんは話します。

●●● 各地域を訪れて ●●●

話せる場合は、電話相談だけではありません。

二〇一三年には、県からの委託を受け、『被災地におけるDV被害者等サポート講座』を開催しました。沿岸部の気仙沼市、避難者の多い登

米市など、県内七か所で三十四回。参加者には、仮設住宅支援員、民生委員、そして当事者がいます。当事者のために、講座の午後には個別面談相談、話し合いと手工芸が行える『パープルタイム』も設けました。講座とともに相談は三十六回、パープルタイムは四十九回にも上る開催となりました。

重なる遠出にハーティ仙台のスタッフに疲れの色が見えることもありました。それでも直接出向き、各地域のサポート体制の向上を図ることに、話す機会をつくるのが必要でした。地方では、DVなどの問題に関する情報が少ない傾向があり、自分が被害者だと気付かないこともあるのです。

●●● 伝えること ●●●

一月、被災三県の女性たちによる「私たちのフォトボイス」と題したパネル展をNPOフォトボイスプロジェクトとともに主催しました。フォトボイスは、写真を撮影し、グループで語り合いを重ねて写真にこ



「同じ女性だからわかる感性があります」と展示を見に来た女性

とばを添えていきます。

パネル展には、写真の撮影者も会場を訪れます。ある女性は、「撮れない写真もあるの。今も人に向けてシャッターを押せない。それでも『伝えること』を教えてもらったからね。女性の視点を見て欲しい」と話しました。展示された一〇点のパネルには、悲しい気持ち、複雑な想い、復興への期待が率直に綴られます。

被災地で暮らす女性たちが抱える問題、悩み、想いはそれぞれです。ハーティ仙台は、その一つ一つに耳を傾け続けています。

NPO法人ハーティ仙台

●TEL : 022-274-1885
●URL : <http://hearty1999.exblog.jp/>

▶電柱に引っかかった車のバンパーを写した一枚



山元町成分一〇〇%の 搾りたてラジオ

りんごラジオ

東日本大震災を機に、岩手、宮城、福島の前被災三県では臨時災害放送局が二十四の地方公共団体で開設されました。

宮城県内では、七市町村が現在も臨時災害放送局として運用、山元町の臨時災害放送局りんごラジオも、その一つです。

震災から三年を迎える今年、多くの臨時災害放送局が廃止あるいは、コミュニティFMへの移行、既存のコミュニティFMへ形を戻すなど、今後の方向性を模索しています。

●●● どこを聞いても山元産 ●●●

りんごラジオの開局は、二〇一一年三月二十一日。電気が止まり、情報収集するには、ラジオが中心でした。しかしラジオでは、被害の大きかった沿岸部の情報が中心で山元町の情報は把握できませんでした。そこで山元町の情報を町民に届けようと、山元町に移り住んでいた元アナウンサーの高橋厚さんや、地元住民が中心となって町役場から情報を発

信しました。

開局にあたって日本財団から車や取材費七五〇万円の助成がありましたが、それでも放送を継続していくには運営資金の面で不安がありました。そこで町と運営方針を相談し、二〇一一年六月の町議会で、りんごラジオの公設民営化が決定。

二〇一一年〜二〇一三年実施分の運営資金を国からの復興交付金を活用し、運営費、人件費にあて、現在は局員九名で役場敷地内に設置しているプレハブを拠点に活動しています。

りんごラジオのモットーは、町の広報誌より早く、詳しく、正しく情報を伝えること。開局から現在まで毎日生放送。全国版のニュースでは放送されない、山元町の町議会を中継するほか、人口増減や農地復旧状況など細かな数字まで伝えていきます。常に山元町の情報一〇〇%を意識し、山元町内の商店の紹介や、小中学生の出演も盛り込んでいます。「山元町に臨時災害放送局がある意味は、山元町ならではの情報を伝

◀住民出演者(手前)から話を聞くなりんごラジオスタッフ(奥)



えるため。他地域の情報が大半を占めてしまつては意味がない」と開局以来局長を務めている高橋さんは語ります。

今年一月限定のスペシャルプログラムである、町会議員の皆さんを迎えたトークも、その一つ。町のためになればと、議員の皆さんが快諾し実現しました。

●●● りんごラジオ継続への決断 ●●●

臨時災害放送局は、災害発生時の臨時の放送局です。それぞれの臨時災害放送局には免許期間があり、りんごラジオは今年の三月で免許の期限を迎えます。臨時災害放送局は「臨時かつ一時的」という位置付けのた

め、放送免許の有効期間も個々の団体によって異なり、規定が定まっているわけはありません。

そこでりんごラジオでは、一年ごとに更新申請をし、二〇一六年三月までの二年間の放送継続を目指すことを決めました。山元町には、仮設住宅から災害公営住宅への順次入居予定や、JR常磐線の移設復旧工事、防波堤整備など、引き続き、伝えるべき情報があるからです。

りんごラジオでは他にコミュニティFM移行も検討しました。しかしコミュニティFMへの移行には開局までの準備資金や、今後の事業計画の提出も必要です。町の補助金を活用するという案も出しましたが、「被災した皆さんの税金を使って放送することに抵抗がある。税金で放送させていただく内容に見合ったものが提供できるのか、確信がないためです」と高橋さん。

二年後以降については見通しが立っていませんが、まずは二年間、復興へ向けて進む山元町の情報を地元町民が発信していく予定です。

りんごラジオ

〒989-2203 亘理郡山元町浅生原字作田山32
●TEL/FAX : 0223-29-4772
●URL : <http://ringo-radio.cocolog-nifty.com/>

NPOの書籍を販売します



みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

みやぎNPOプラザでは、NPOの情報発信を支援することを目的に、団体が発行した書籍の販売を代行しています。

NPOが発行する書籍は、書店に並ぶことが少なく、自団体で販売する機会が多いため、広がりには欠けるという課題を抱えています。そこで、みやぎNPOプラザでは、市民がよりNPOの書籍に触れやすいように、交流サロンに「図書販売コーナー」を設置し、市民への情報提供を目指しています。

現在、図書販売コーナーでは十団体が発行した十五種類の書籍の代行販売を行っています。分野も平和・環境・福祉・まちづくり・NPO会計など多岐に渡り、内容もバラエティーに富んでいます。

書籍の販売窓口を探しているNPOの皆さん、是非、みやぎNPOプラザの図書販売コーナーを活用し、団体の情報発信に役立ててください。書籍の販売の代行を希望する団体は電話・FAX・Eメールで、下記の連絡先までお問合せ下さい。

次に、現在、みやぎNPOプラザで販売している選りすぐりの四冊を紹介いたします。なお、みやぎNPOプラザで販売している全ての書籍については、みやぎNPO情報ネットをご覧ください。

01 「平等」の先の平等2012
■ノルウエーに学ぶ会



一九九九年以来、ノルウエーの男女平等政策とそれを支える福祉政策や女性たちの活動を市民に紹介している「ノルウエーに学ぶ会」が、十二年ぶりにノルウエーに赴き、最新の男女平等政策や福祉の取り組みを取材しまとめた一冊。

市民の暮らしぶりに触れたエッセイなど、ノルウエーの魅力満載です。

スタッフ書評

02 あなたの心に寄りそふ
■NPO法人仙台傾聴の会



東日本大震災で、傾聴ボランティアの役割はどの様な役割を果たしたのか。被災者などの様な心の交流があり、信頼関係を築いたのか。会発足から五年の歩みとともに、傾聴ボランティアの視点から被災者支援を顧みた記念誌です。

傾聴から見てきた被災者の「こころの声」が、深く印象に残ります。

スタッフ書評

03 ここに生きる
■NPO法人東日本カウンセリングセンター



徹底的に「心」を学んだ東日本カウンセリングセンター会員十五人の被災体験寄稿文と被災者へのインタビューで構成された内容で、目に見えない心の傷との向き合い方、逆境を乗り越える為のヒントが記されています。

読み終えると本当の「幸せ」とは何かが見えてきます。

スタッフ書評

04 環境保全米農法の手引き
■NPO法人環境保全米ネットワーク



水田の生態系を維持するため農薬や化学肥料を減らしても、高い品質と収穫量が期待できる環境保全米農法についての考え方や土作りの方法などが紹介されている手引書です。水田の生態調査も収録されています。

新たな農法の確立に取り組む人々の真摯な姿勢が伝わってきます。

スタッフ書評

プラザのNPO講座・相談

お申込みはコチラから

NPO労務管理基礎講座 2/7(金) 13:30~15:30

NPOのためのITを活用した情報発信講座 in 大崎 2/13(木) 10:30~12:30

雇用なんでも相談 2/14(金) 13:00~17:00

会計・税務相談 2/27(木) 13:00~17:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者・特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

アウトドア自然保護基金プログラム(第四半期)

- 助成対象：自然環境保護のために行われる直接支援活動
以下の活動は支援金の対象外
・科学的な調査(環境問題の解決のための特定の行動を直接支援する調査は除く)
・ビデオやテレビなどのプロジェクト、土地購入、政治的キャンペーン
・一般的な教育活動
- 対象団体：明確な行動指針を持ち、法律を遵守できる団体
- 助成金額：10～50万円
- 募集締切：2月15日(土)
- 連絡先：コンサベーション・アライアンス・ジャパン
アウトドア自然保護基金プログラム係 福永宛
〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢5-12-12
(株)アライメント内
TEL：042-944-5855 FAX：042-944-5825

ジャパン・プラットフォーム「共に生きる」ファンド(第16次)

- 助成対象：・東日本大震災の被災地・者に対する緊急から復興までの支援活動全般
・全国にある被災者の避難先における活動
- 対象団体：応募時点で所定の要件を満たす非営利法人
※法人格のない任意の団体等は含みません
※地元の非営利組織が支援活動を行うことを優先的にサポートします
- 助成金額：1事業あたり100万円～1,000万円(総額は当面10億円)
※前年度の支出実績等により金額が異なります
- 対象期間：「共に生きる」ファンドの助成を受けたことがない場合、最長3か月まで
初回のJPF助成事業が問題なく実施されたことが確認された場合は、次回申請事業からは最長1年間まで可能
- 募集期間：2月13日(木)～2月20日(木)
- 応募先：proposal@japanplatform.org
- 連絡先：NPO法人ジャパン・プラットフォーム
事務局事業部(震災担当)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル2階266区
FAX：03-5223-8991 FAX：03-3240-6090
URL：<http://www.japanplatform.org/programs/higashi-nihon/tomon-i-kiru.html>

平成26年度 仙台市若林区まちづくり活動助成

- 助成対象：地域の課題の解決・活性化など、区民の皆さんの創意工夫による自主的な活動に必要な経費の一部を助成します。詳しくは募集要項をご覧ください。
- 対象団体：若林区内に活動拠点を有し、団体の構成員のおおむね半数以上が若林区内に住所があるか通勤・通学をしている市民団体
- 助成金額：1件につき限度額50万円
- 対象期間：平成26年4月～平成27年3月の間までに開始し、終了する活動
- 募集締切：2月28日(金)
- 連絡先：若林区まちづくり推進課
〒984-8601 仙台市若林区保春院前丁3-1

TEL：022-282-1111(代表)
FAX：022-282-1152
E-mail：wak014020@city.sendai.jp

平成26年度 市民国際交流事業補助金(第1期)

- 助成対象：国際交流、多文化共生、国際協力、異文化理解などを目的とし、一般の市民が対象となる事業
- 対象団体：主に仙台市内で活動し、団体構成員の過半数が仙台市在住又は通勤・通学している非営利団体
- 助成金額：上限10万円
※補助対象金額により交付額の上限が異なります
- 対象期間：2014年4月1日～2015年3月31日
- 募集締切：2月28日(金)
※受付期間は第4期まで。詳しくはお問い合わせ下さい
- 連絡先：公益財団法人仙台国際交流協会
TEL：022-265-2480 FAX：022-265-2485
E-mail：ogino@sira.or.jp

第15回 社会貢献基金助成

- 助成対象：1)「婚礼(結婚式)、葬儀(お葬式)など儀式文化の調査研究」事業
2)高齢者福祉事業 3)障害者福祉事業
4)児童福祉事業 5)環境・文化財保全事業
6)国際協力・交流事業
- 対象団体：日本国内に事務所を置く、3年以上の活動実績を持つ非営利組織、大学、研究機関(個人も可)
※条件の詳細はHPにて募集要項をご参照ください
- 助成金額：1)上限100万円
2)～6)上限200万円(総額約1,000万円)
- 助成期間：平成26年4月～平成27年4月の間に開始し、終了する事業
- 募集締切：2月末日 必着
- 連絡先：一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
〒105-0004 東京都港区新橋1-18-16
日本生命新橋ビル9F
TEL：03-3596-0061(メールでの問い合わせは不可)

障害者市民防災活動に対する助成

- 助成対象：1)障害当事者が中心となる防災活動(避難所・避難行動体験や啓発・学習活動)
※体験や学習会の講師やアドバイザーを派遣します
2)防災を通じて障害者市民と地域住民とのネットワークがつけられ、日常の活動にもつながる取り組み
3)災害時に障害者支援を行うための具体的な仕組みづくり
4)障害当事者の声を反映した防災の研究活動
5)その他障害者市民防災に役立つ活動
- 助成金額：1事業の限度額10万円
※単年度(1月～12月)で助成額が100万円に達した時点で締め切ります。申請をされる方は、事前に事務局へ確認をお願いします
- 募集締切：随時受付(ただし、事業実施の3か月以前の申請が必要)
- 連絡先：NPO法人ゆめ風基金
〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-14-1-108
TEL：06-6324-7702 FAX：06-6321-5662
E-mail：yumekaze@nifty.com

2/25

被災地ホームカミングデー

震災から3年。被災各地で地域のコミュニティづくりや生業作りのために活動する団体は、今、維持存続するために必死な思いでいます。このイベントの開催によって、被災地外に情報発信するだけでなく、同じ被災地で活動する団体を理解し合い、情報を共有する機会を持ちたいと考えています。

- 日 時：2月25日(火)～3月2日(日) 10:00～17:00
- 場 所：東北電力グリーンプラザ アクアホール
(仙台市青葉区一番町3-7-1)
- 内 容：★震災復興活動を行う団体によるパネル発表・ディスカッション
★地域で活動する団体やアーティストによるコンサート
★復興グッズなどの手作りを一緒に作るワークショップなど
- 入 場 料：無料
- 主 催：NPO法人亙理いちごっこ
- 連 絡 先：NPO法人亙理いちごっこ 被災地HCD実行委員会
〒989-2351 亙理郡亙理町字南町東10-1
TEL：0223-35-7727 FAX：0223-35-7737
URL：http://watari-ichigokko.blogspot.jp/

2/26

“小町の会”つりびな展示発表会

このたび“小町の会”のつりびな作品を、皆様のお足の運びやすい長町モールにて展示発表します。長い間愛情を込め、一つ一つ大切に仕上げた作品です。楽しさと手作りのぬくもりをお届けします。

- 日 時：2月26日(水)～28日(金)
- 場 所：ザ・モール仙台長町店 2階催事場
- 内 容：・つりびなの展示
・体験教室(展示期間中13:00～14:30)
※定員は1日10名、材料費1,000円、用具は会場に用意
- 参 加 費：無料
- そ の 他：“小町の会”新教室メンバーを募集します
3月7日(金) 11:00～13:00
太白文化センター 3階会議室にて
会費：2,100円
- 申込方法：下記連絡先までTEL・メールにて
- 主 催：小町の会
- 連 絡 先：(担当：佐藤) TEL：022-386-5259
E-mail：satottkj@y9.dion.ne.jp

2/27

受けて納得！ NPO基礎講座～はじめてのNPO～

NPOって何だろう？そんな皆さまにお届けするNPO基礎

講座です。NPOのイロハやNPO法人と任意団体のちがひ、NPO法人化のメリットとデメリットなど分かりやすくお話しします。NPOの疑問をスッキリ解決しましょう！

- 日 時：2月27日(木) 13:30～15:30
- 場 所：名取市市民活動支援センター 会議室
- 講 師：大久保朝江氏(NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 対 象：名取市にお住まいでNPOや市民活動に興味のある方。NPO法人の設立を考えている方など
- 定 員：15名(申込先着順)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先に、TEL・FAX・E-mailで申込み
申込み時、氏名・所属団体・連絡先をご申告下さい
- 主 催：名取市
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：名取市市民活動支援センター
〒981-1232 名取市大手町5-6-1
TEL：022-382-0829 FAX：022-382-0841
E-mail：npo@natori-npocenter.or.jp
URL：http://blog.canpan.info/natori/

3/8

ケータイで撮った「3.11」はありませんか？

東日本大震災発災後、ケータイで自分たちの生活や身の回りの様子を撮影した写真はありますか？将来、自分たちが撮った写真が記録遺産として役立つよう、「3がつ11にちをわすれないためにセンター」と共同募集しています。

- 日 時：3月8日(土)～3月11日(火) 13:00～17:00
- 場 所：せんだいメディアテーク7階 ラウンジ
(最終日のみ1階オープンスクエア)
- 写真について：・ご自身で撮影した震災写真をお持ちください
・携帯電話やデジカメ、SDカードなどを、そのままお持ちいただいても構いません
・仙台市、県内市町村および東日本大震災で被害を受けた全地域が対象
・写真についての特筆事項がありましたらお知らせください
・データは会場でコピーさせていただきます。お時間があれば、その時のお話も聞かせてください
・写真は主催の両団体で共同所有させていただきます
※下記メールアドレスでも受け付けています
- 主 催：NPO法人20世紀アーカイブ仙台、3がつ11にちをわすれないためにセンター(せんだいメディアテーク)
- 連 絡 先：NPO法人20世紀アーカイブ仙台
〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-11-2
TEL：022-387-0656 FAX：022-387-0651
E-mail：npo@20thcas.or.jp
URL：http://www.20thcas.or.jp/

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です！**
- 締切：毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

興支援に取り組もうとする 東北6県の方々に応援する助成事業がスタートします。シンポジウムでは各被災地の男女共同参画センターの取り組み等から見えてくる課題を出し合い、解決に向けて何ができるのかみなさんと一緒に考えます。

- 日 時：2月16日(日) 13:30～16:00
- 場 所：エル・ソーラ仙台 大研修室(アエル28階)
- 内 容：★1部「ジェンダー平等をめざす藤枝滯子基金」
設立にあたって
・講演者 米田禮子氏(NPO法人グループみこし理事長)
★2部 震災からまもなく3年～被災地に残された課題は…
・パネリスト
千葉悦子氏(福島県男女共生センター館長)
平賀圭子氏(NPO法人参画プランニング・いわて理事長)
木須八重子氏(公益財団法人せんだい男女共同参画財団理事長)
浅野富美枝氏(宮城女子大学教授)
・コーディネーター
佐藤理絵氏(河北新報社教育プロジェクト事務局長)
★3部「東日本大震災からの復興支援にかかるジェンダー平等をめざす藤枝滯子基金」
助成事業の案内
- 定 員：70名(先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先に、TEL・FAX・E-mailで申込み
- 主 催：NPO法人イコールネット仙台、NPO法人グループみこし
- 連絡先：NPO法人イコールネット仙台
〒980-0011 仙台青葉区上杉6-2-25
TEL/FAX：022-796-6515
E-mail：equal-net@pony.ocn.jp
※TELの場合は毎週火・木・金の10:00～16:00
をお願いします

2/21 はじめる広場トークタイム ～あなたの身近にある、出会いと活躍の場～

《はじめる広場トークタイム》はボランティアや地域活動に対する先入観や疑問を、実際に活動している人の体験を聞いたり、気軽に質問することで解消できるトークイベントです。

- 日 時：2月21日(金) 19:00～20:30(受付18:30～)
- 場 所：多賀城市市民活動サポートセンター 2階201会議室
- 内 容：【ゲスト】一般社団法人復興応援団の学生メンバー4人
・ゲストの活動体験や学んだことを、聞いたり気軽に質問できる“トークタイム”
・活動のはじめ方をわかりやすく紹介する“活動のはじめ方インフォメーション”
- 対 象：ボランティアや地域活動への参加を迷っている方。活動に参加することでどんな経験が得られるのか知りたい方など(友人・知人と一緒に参加歓迎)
- 参加費：500円(ドリンク・お菓子付き)
- 申込方法：下記連絡先まで事前にTEL、FAX、メールにて申込
- 主 催：多賀城市
- 連絡先：多賀城市市民活動サポートセンター
TEL：022-368-7745 FAX：022-309-3706
E-mail：tagajo@sapo-sen.jp
URL：http://www.tagasapo.org/

2/22 「ミツバチの羽音と地球の回転」無料上映会

未来のエネルギーをどうするのか？祝島とスウェーデンでエ

ネルギーの自立に取り組む人々の物語。

- 日 時：2月22日(土) 13:15～(12:45入場)
- 場 所：東日本建物仙台駅前ビル2階
(仙台市青葉区中央3-6-7) ※1階は無料カフェ
- 定 員：50名
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせ下さい
- 主 催：ホントのことを知りたい!仙台・市民学習カフェ・登米・市民学習カフェ
金木犀の会(放射能から子供を守る会)
- 連絡先：E-mail：wanwan_wando777@yahoo.co.jp

2/22 NPO夜学～もうひとつの生き方と出会う～ 第5回「NPOと出会う!N活(エヌカツ)!」

2月のテーマは、「NPOと出会う!N活!」。多種多様な分野のNPOを運営している方々をお迎えして、ワークショップを行います。今年度ラストの「NPO夜学」で、あなたの想いにあったNPOを見つける絶好のチャンスです。

- 日 時：2月22日(土) 16:30～18:30
※終了後に参加者同士の交流を兼ねた懇親会を開催します。一緒に活動する仲間を見つけるチャンスです
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- ゲ ス ト：NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ
NPO法人ふうどばんく東北AGAIN
NPO法人パソコン要約筆記文字の都仙台
NPO法人蔵王のブナと水を守る会
※都合によりゲスト団体が変更になる場合があります
- 対 象：20～40代の社会人・学生で、市民活動に興味のある方など
- 定 員：15名程度(申込先着順)
- 参加費：1,000円(税込)
- 申込方法：参加申込書にご記入の上、FAX、郵送、メールにてご送付下さい
申込書は下記URLからダウンロード可能です
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：みやぎNPOプラザ
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
TEL：022-256-0505 FAX：022-256-0533
E-mail：npo@miyagi-npo.gr.jp
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyounpoyagaku_20140222.html

2/23 みんなつながれ!杜の子まつり フォーラムディスカッション

杜の子まつりの総括としてフォーラムディスカッションを実施します。

- 日 時：2月23日(日)13:30～16:30(開場13:00～)
- 場 所：エル・パーク仙台 5・6階
- 内 容：「子どもの未来・復興への展望2014」
杜の子まつり3年間の報告&ワークショップ
- 主 催：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先：(担当：吉澤)
〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL/FAX：022-375-3548
URL：http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/

- 申込方法：直接会場にお越しください
- 主催：NPO法人宮城県断酒会
- 連絡先：〒980-0821 仙台市青葉区春日町4-1
TEL：022-214-1870 FAX：022-738-7181

2/11 第16回 ボランティアフォーラム 「復興と地域力の回復。ボランティア活動の充実と協働の視点から考える。」

東日本大震災から間もなく3年を迎え、被災された方々が仮設住宅等から復興公営住宅への転居が3月末頃から本格化するなど、大きく前進しようとしています。この「節目」となる再建の歩みを真の前進とし、大きな「地域力」を育むためにボランティアが寄与できることは何かについて考えます。

- 日時：2月11日(火) 13:00～16:30(12:30開場)
- 場所：エル・パーク仙台 6階ギャラリーホール
- 内容：★第1部 基調講演
「脳科学の世界から見るボランティア活動」
講師：杉浦元亮氏(東北大学加齢医学研究所(兼)災害科学国際研究所 准教授)
★第2部 パネルトーク
- 対象：ボランティア活動に興味関心のある方・団体等
- 定員：200名
- 参加費：無料
- 申込方法：所定の申込用紙に「第16回ボランティアフォーラム申込」と記載し、①お名前②ご所属③連絡先④第2部の希望(AまたはB)を記載の上、メール、FAXにて申込み。詳しくは以下のHPをご覧ください
- 申込締切：2月10日(月)
- 主催：仙台市ボランティアセンター
(社会福祉法人仙台市社会福祉協議会)
- 連絡先：〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-12-2 福祉プラザ4階
TEL：022-262-7294 FAX：022-216-0140
E-mail：sendai-vc@poppy.ocn.ne.jp
URL：http://www.ssvc.ne.jp

2/11 復興ものづくり交流会 inわたり

東日本大震災をきっかけに、素敵な手仕事品がたくさん生まれました。品物ひとつひとつに誕生のストーリーがあり、作り手の方々の想いが込められています。お気に入りの一品に出会いに来ませんか？

縦覧中

| NPO法人の設立を新しく申請した団体 | | 宮城県等所轄分 2013年12月11日～2014年1月10日 | |
|--------------------|---------|--|-------|
| 団体名 | 所在地 | 活動内容 | 受理日 |
| 蔵王町協働会 | 刈田郡蔵王町 | 蔵王町における、町民参加の町づくりや協働のあり方に関する調査、研究等 | 12/12 |
| プレアツーンリズム | 石巻市 | 地域住民と来訪者に対する復興に関する観光事業等 | 12/11 |
| 七ヶ浜の100年を 考える会 | 宮城県七ヶ浜町 | 七ヶ浜町における、地域の課題に対して自主的・主体的に取り組める場の構築に関する事業等 | 12/12 |
| マリアナ旅鯉 | 亶理郡亶理町 | 絶滅危惧種指定淡水魚ニホンウナギの天然資源の回復及び保護に関する事業 | 12/16 |
| むらた蔵わらし | 柴田郡村田町 | 村田町における、蔵の陶器事業及び蔵の活用に関する事業 | 1/9 |

宮城県のNPO法人数 **751** 団体
宮城県等所轄：341団体 ※2014年1月10日現在
仙台市所轄：410団体

- 日時：2月11日(火) 13:00～15:00
- 場所：みやぎ生協亶理店(亶理郡亶理町逢隈高屋字柴北100)
- 参加費：無料
- 主催：ものづくり交流会実行委員会
- 連絡先：NPO法人応援のしっぽ
TEL：0225-24-9258 FAX：0225-24-9259
E-mail：hirobe@oennoshippo.org
みやぎ連携復興センター
TEL：022-748-4550 FAX：022-748-4552
E-mail：renpuku@gmail.com

2/15 宮城県メンタルヘルス村。 2月度・村会(うつ病などの自助会)

村会とは、ココロの病気や、ココロの悩みと生きる人たちの自助グループミーティングです。特に講師などは参加せず、参加者全員で話し合う、水平な集いです。完全オープン制の自助グループで、精神科、心療内科にとくに通院していない方も参加できます。

- 日時：2月15日(土) 13:00～16:00(開場12:30)
- 場所：エル・パーク仙台 5階セミナー室
- 対象：精神の病気の人、精神障害者、知的障害者の人、ひきこもりの方、健常者、当事者の家族など、それ以外の人でも参加可能です
介助者ヘルパー同伴でも参加できます(介助者様の分の会費も発生)
- 参加費：500円
- 申込方法：予約制。以下の内容を記載の上、メールにて申込件名を「宮城県メンタルヘルス村。2月度村会参加について」とし、1)当日、村会で使用するハンドルネーム(匿名)、2)性別(基本的に男女別のお席となります)、3)参加人数を明記の上、メールにて申込
※個人名、住所などの個人情報を書かないでください。村会の中では個人名は使用しません
- 主催：宮城県メンタルヘルス村。
- 連絡先：E-mail：jakura59469@yahoo.co.jp
URL：http://ameblo.jp/mentalvillage2from2009/

2/16 シンポジウム「震災からまもなく3年～ 被災地に残された課題は…」

「ジェンダー平等をめざす藤枝清子基金」の設立を受け、ジェンダー平等、女性の権利の実現等の視点から被災地3県の復

縦覧中

| NPO法人の設立を新しく申請した団体 | | 仙台市所轄分 2013年12月11日～2014年1月10日 | |
|-----------------------------------|-----|--|-------|
| 団体名 | 所在地 | 活動内容 | 受理日 |
| EEET | 青葉区 | 地質・水質の調査事業、岩石・鉱物の鑑定事業、化学分析事業等 | 12/4 |
| 婚活支援ネットワーク・アイリス | 青葉区 | 独身男性・女性を対象とした結婚についての相談及び支援に関する事業、結婚活動の支援を目的としたイベント・交流会の企画・開催に関する事業 | 12/13 |
| 農村IT応援隊 | 太白区 | GIS等のソフトウェアを活用した地域振興にかかわる支援事業、地域振興にかかわるITシステムの設計業務、各種研究機関との農村振興にかかわる共同研究等 | 12/19 |
| 東北福祉大学 防災士協議会 Team Bousaisi | 青葉区 | 防災士養成研修及びスキルアップ事業、防災・減災活動に関する調査および防災機関との連携事業、地域や団体と連携した防災知識の普及・啓発(防災・減災教育)かかる事業等 | 12/24 |
| 食報道絆通信 | 青葉区 | 漁業・水産物生産業に関する情報発信事業、農業・畜産業および農畜産物および農畜産物製造業に関する情報発信事業、東北の地域食文化や食文化・食材の旬を伝える事業等 | 1/6 |

- 日 時：2月8日(土) 14:00～16:00
- 会 場：せんだいメディアテーク 7階会議室b
- 講 師：伊藤利光氏(ウェブクリエイター)
- 定 員：20名(事前申込・先着順)
- 参 加 費：1,000円(当日会場にてお支払いください)
- 主 催：一般社団法人メディアデザイン
- 連 絡 先：(担当：千葉)
〒980-0801 仙台市青葉区木町1-1-11
朝日プラザ北一番丁1階
TEL(携帯)：090-3049-0613
FAX：022-224-5308
E-mail：kouza@mediadesign.jp
URL：http://mediadesign.jp/

E-mail：tohoku@soscvj.org
URL：http://soscvtohoku.org/

2/8 石巻に恋しちゃった♡ 第四回 冬恋 2014.2.8-2.23

冬の石巻・東松島・女川エリアの魅力満載！まちの達人たちが案内する地域体験プログラムです。

- 日 時：2月8日(土)～2月23日(日)
- 場 所：石巻・東松島・女川の各地
- 内 容：・大切な人を守る～復興公営住宅見学～(2月8日(土))
・石巻メガミ★パーティ(2月23日(日))
ほか、「まち」の達人たちが提供するプログラム多数
- 対 象：どなたでも
- 定 員：各プログラムごとに定員あり
- 参 加 費：各プログラムごとに設定
- 申込方法：下記いずれかの方法でご予約ください(プログラムごとの予約となります。事前にご参加されるプログラムをお選びください)
①公式サイト(<http://ishikoi.com>)内「予約はこちらから」より予約画面へ
②下記連絡先へTEL(平日10:00～17:00)
- 主 催：石巻に恋しちゃった♡実行委員会
- 連 絡 先：事務局(NPO法人石巻復興支援ネットワーク内)
TEL：0225-23-8588
E-mail：ishikoi@yappesu.jp
URL：http://ishikoi.com

2/8 家族と暮らせない子どもたちのために 第5回「もうひとつの絆」フォーラム

様々な理由で家族と暮らせない子どもたちが全国にいます。実家族との「絆」と、里親さんとの「新しい絆」、子どもたちにとってそちらの絆も大切にしていきたいという思いを込めて実施します。

- 日 時：2月8日(土) 13:00～16:30
- 場 所：せんだいメディアテーク 7階スタジオシアター
- 内 容：★基調報告「里親さんを待っている子どもたち」
・報告者 仙台市児童相談所
★基調講演「昨日より明日はもっと家族」
・講師 坂本洋子氏(「坂本ファミリー」養育者、里親ひろばほいっぷ代表)
※大学生の里子さんからのお話もあります
★トークセッション「私の里親家族」
・対談者 里親さんx山崎剛氏(みやぎ心のケアセンター副センター長)
★交流会(17:30～19:30)
※交流会の場所は当日お知らせします。
- 参 加 費：無料 ※交流会参加希望者は4,000円
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
申込み時、氏名・所属・住所・連絡先(TEL・FAX)・交流会参加の有無をご申告下さい
- 託児申込：申込み時に託児希望と申告。託児を希望するお子さんの人数・お名前・年齢をお知らせ下さい
- 主 催：NPO法人子どもの村東北
- 連 絡 先：NPO法人子どもの村東北
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-7-30 角川ビル402号
TEL：022-748-6936 FAX：022-748-6931

2/11 第12回 宮城市民セミナー 「震災から3年経過してのネットワークづくり」

私たち宮城県断酒会は、これまでアルコール依存症とうつ・自殺問題、飲酒運転などをテーマに毎年市民セミナーを開催してきました。今回は東日本大震災から3年経過してのアルコール関連問題のネットワークづくりについて考えます。

- 日 時：2月11日(火・祝) 13:00～16:00
- 場 所：東北大学片平キャンパス内「さくらホール」
(仙台市青葉区片平2-1-1)
- 内 容：★当事者の体験発表
★講演 講師 奥平富貴子氏(東北会病院医師)
★NPO法人宮城県断酒会からの報告
- 参 加 費：無料

かほく「108」クラブ通信 河北新報輸送株式会社

当社は創業から36年。河北新報を『つくる人』から『配る人』に「運ぶ」のが私どもの任務です。日々事故のないよう、より早く、確実に、をモットーに車体に描かれた「かほピョンマーク」とともに、宮城県内を中心にほぼ東北全域を配送しています。
東日本大震災では全車両に搭載

している業務用移動無線とともに、新聞の物流を担う部門として大きな役割を果たしました。
河北新報グループと連携して、かほく「108」クラブなど社会貢献活動にも取り組んでいます。今後も地域と一体となったネットワークを生かしながら、安全・安心の運転を目指していきます。



▲新聞を確実に届けるため頑張ります

お知らせ

2014年震災復興版チャリティカレンダー

2006年から子どもたちの想いや夢を、チャリティカレンダーにのせて、全世界へ発信しています。今年は「夢」をテーマに、こどもたちから絵がよせられました。収益は必要経費を除き、世界の子どもたちを支援する現地NGOの支援、震災復興支援に活用させていただきます。

- サイズ：見開き形式のA4タイプ(上下見開いた状態でA3サイズ)
- 価格：1,000円(振込手数料が別途かかります)
- 購入方法：下記URLから申込
http://children-smile.com/calendar/calendar.html
- 主催：ストリートチルドレン芸術祭
- 連絡先：チャリティカレンダー東北支部
〒981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1
東北福祉大学 生田目研究室内
URL：http://children-smile.com/
(HPに問合せフォーム有)

下飯田太田・岩切「わくわく農園」区画利用者募集!

あなたも家庭菜園に挑戦してみませんか! ご近所にお住まいの方、大歓迎!

- 募集区画：〈岩切わくわく農園(第2農園)〉
住所：仙台市宮城野区岩切大正82
(松森ごみ焼却場近く)
募集数：6区画(1区画=15坪(一部12.5坪あり))
〈下飯田太田わくわく農園〉
住所：仙台市若林区下飯田字西田116
募集数：15区画(1区画=15坪あるいは10坪)
- 栽培条件：自然農法、又は有機農法(農薬・化学肥料を使用しないこと)
※栽培方法は指導します
- 賃料：岩切 10,000円/15坪
下飯田 9,000円/15坪、6,000円/10坪
※全て1年間の賃料、NPO個人年会費3,000円が別途必要
- 更新：1年毎の更新(毎年4月)
- 申込方法：下記連絡先まで問合せ
- 主催：NPO法人自然農食みやぎ
- 連絡先：所在地：仙台市泉区館1-6-12
事務所：仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内
TEL：090-2977-5224 FAX：022-379-3661
E-mail：hasegawa.kkk@jcom.home.ne.jp
URL：http://snsmiyagi.com

電話相談

ひとりで悩まないで! ママパライン全国キャンペーン

子どものため、家族のために、ずーと頑張ってきた、あなたへ。ひとりで我慢して、疲れがたまっていますか?匿名で、子育ての悩みや不安な気持ちを、じっくり話してみませんか?

- 相談電話番号：022-773-9140
- 日時：2月10日(月)～2月15日(土)10:00～16:00
※上記以外の期間は、毎週金曜10:00～14:00に開設
- 連絡先：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL/FAX：022-375-3548
E-mail：morinokodomo@s8.dion.ne.jp

イベント

2/4 うーん?分かった!と言えるパソコン講座

パソコンを使うと思わぬところで……。そのような方向けに、毎週開催しているパソコン講座です。講座は、マンツーマンに近い形で行っています。【ワード、エクセル、メール、デジカメなどなど】個別ニーズに対応いたします。お気軽に受講して下さい。

- 日時：すべて火曜日2月4日、2月18日、2月25日
いずれの日程も13:00～15:00で開催
- 場所：みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
※悪天候や会場予約状況によっては変更の場合有。ご心配の方は事前にお問い合わせの上、お申込み下さい
- 参加費：1,000円
- 申込方法：下記連絡先にお問い合わせ下さい
※申込なしの飛び込み参加も受付しています
- 主催：NPO法人ばざーる太白社会事業センター
(略称ビートスイッチ)
- 連絡先：TEL：070-5320-8928 FAX：022-292-7162
URL：http://www.b-taihaku.net/

2/8 電子出版入門講座

紙に印刷した本とは、まったく違う「電子書籍」。電子書籍は、どうやって「読む」の?どうやったら「作る」ことができるの?個人で「出版」するには、どうしたらいいの?そんな疑問にお答えする講座です。

ありがとうございます!!

● 今月の新入会員・継続会員 (2014.1.16現在) 敬称略

● 正会員 50名

★ 仙台市 ● 猪狩慎一 ● 齋藤純子

● 賛助会員 80名

★ 仙台市 ● 木村さち子

会員募集

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊社の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

| 会員種類 | 年会費 |
|-----------|---------|
| 正会員個人・NPO | 10,000円 |
| 正会員法人 | 20,000円 |
| 賛助会員個人 | 3,000円 |
| 賛助会員NPO | 5,000円 |
| 賛助会員企業・団体 | 20,000円 |

■ 会員には毎月「月刊社の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 **02250-0-43800**

加入者名 **特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる**
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

information

1月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

みなし仮設集会所 若松会の運営サポート (主に、会計処理・シニア補助)ボランティアスタッフ募集

若松会は、若林区荒浜地区の民間借り上げ住宅(みなし仮設)の住民被災者による自助団体です。このたび、集会所でのイベントや日常の集会所運営をサポートできる方を募集しています。

- 活動日時：平日10:00～17:00
※サポート可能な日時も考慮します
イベント時は、休日も願います
- 活動場所：みなし仮設集会場 ※沖野小学校近く
(仙台市若林区沖野3-15-58)
- 活動内容：集会所運営サポート及び事務処理
その他に要望があれば、お聞きします
- 募集人員：20名
- 活動内容：在宅の場合は、事務所活動費に関する帳簿作成及び会議議事録作成
事務所内では、ファイリング整理
- 申込方法：電話・メールにてご連絡ください
※ボランティア登録を送ります
- 募集主体：公益社団法人WAC長寿社会文化協会東北ネットワーク事務局 シニアボランティア
- 連絡先：〒984-0051 仙台市若林区新寺1-5-26
レインボー仙台407
TEL：090-2992-4353
E-mail：lovethelight@sage.ocn.ne.jp
URL：http://www.wac.or.jp/

学習サポートボランティア募集

仮設住宅、みなし仮設で生活している子ども達、経済的に厳しいご家庭の子ども達が、まなびの場を通しての基礎学力の向上、自己肯定感が育まれていくことを目指しています。子どもたちと一緒に寄り添いながら、勉強して下さる方を募集しています。

- 活動内容：子どもを承認し、励ましながらの学習サポート
対象：小学生～高校生
- 活動日時：毎週月曜～金曜日のいずれか
18:00～20:30 ※拠点により前後
- 活動場所：太白区内
(1)長町1丁目教室(地下鉄長町1丁目駅から徒歩3分)
(2)富沢教室(地下鉄富沢駅から徒歩5分)
(3)柳生教室(仙台南駅から徒歩5分)
(4)袋原教室(仙台南駅から徒歩15分)
(5)八木山教室(仙台駅から徒歩20分)
：仙台市内
拠点が多数ありますので、ご相談ください
※拠点により、原付、車での移動も大歓迎

- 対象：子どもと向き合い、子どもの成長と一緒に喜んでくださる方、未経験の方でも大歓迎
・大学生、社会人の方
・週1回以上参加できる方
(毎週が難しい場合は要相談)
- その他：交通費実費支給あり
コーチング研修会やサポーター交流会など、定期的に開催しています
- 申込方法：興味のある方、直接団体までご連絡ください
- 募集主体：NPO法人アスイク
- 連絡先：(担当：佐々木)
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-3-21
コーポ小松101
TEL：022-781-5576
携帯：070-5620-8554
E-mail：info@asuiku.org
URL：http://asuiku.org/

有給スタッフ

児童センター及び子育て支援に関わる有給 スタッフ募集

子どもが大好き！人と関わるのが大好き！そんな皆さん、是非一緒に活動していきましょう！

- 職種：児童センター及び子育て支援に関わる業務
- 主な業務：遊びを通じた児童の健全育成、おたよりの作成、行事の実施など
- 勤務地：那智が丘及び名取市内の児童センター
- 採用人員：10名程度
- 雇用形態：パート①週20時間未満(1日実働4時間程度)
②週30時間～40時間未満
(1日実働6時間程度)
※8:15～19:15の間のシフト制
- 雇用期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日
※契約更新の可能性有
- 必要資格：保育士、教員免許(幼稚園教諭含む)、児童厚生員(2級以上)のいずれか
- 年齢：不問
- 報酬：時給830円(交通費別途支給)
- 通勤：自家用車での通勤可(職員駐車場有)
- 加入保険：雇用形態②に関しては、労働保険、社会保険の適用有
- 応募書類：履歴書(写真貼付)、職務経歴書(職歴がない方は自己PR書)
- 応募方法：下記連絡先に、履歴書・職務経歴書(自己PR書)を郵送
- 募集主体：NPO法人子育て応援団ひよこ
- 連絡先：〒981-1244 名取市那智が丘2-1-2
那智が丘児童センター(担当：齋藤)
TEL：022-386-2051 FAX：022-386-2051
E-mail：info@natori-hiyoko.com
URL：http://natori-hiyoko.com

みやぎNPOプラザ

貸事務室

使用団体
募集中!!

みやぎNPOプラザでは、NPOや市民活動団体の皆さんに活動拠点になる事務室をお貸しします。メンバーがいつでも集まれる拠点を持つことは、組織基盤の強化や活動の発展につながります。皆さんの熱い想いを実現するため、プラザの事務室を活用してみませんか?定期的に募集するものではありませんので、この機会をお見逃しなく!

| 募集施設 | 面積 | 月額使用料 | 使用期間 |
|----------|-----|--------|----------------|
| ①事務室(小3) | 約4㎡ | 4,000円 | 平成26年5月1日～最長3年 |
| ②事務室(小4) | 約4㎡ | 4,000円 | 平成26年4月1日～最長3年 |
| ③事務室(中3) | 約9㎡ | 9,000円 | 平成26年4月1日～最長3年 |

※100V電源コンセント、電話用モジュラージャックは上記金額内で使用可。
インターネット用モジュラージャックの使用については別途月額1,000円の使用料が必要です。

募集対象団体

- ・県内で活動するNPOや市民活動団体(NPO法人格の有無は不問)
- ・団体の規約に基づいて総会の開催、事業報告、収支決算が行われている団体

申込方法

「募集要項」の応募団体の要件、入居後の使用条件、選考の方法、入居までのスケジュールなどの詳細を必ずご確認ください。所定の申込書と必要書類を併せて、みやぎNPOプラザまで持参してください。
※2/21(金)に公開ヒアリング・選考を行います。

募集要項・申込書配布場所

みやぎNPOプラザ窓口、宮城県NPO・協働社会推進班で配布しています。
また、下記サイトからもダウンロードできます。
みやぎNPO情報ネット <http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

申込締切

H26年
2/14(金)

問合せ・申込先:みやぎNPOプラザ(連絡先は8pをご覧ください)

NPO会計の
頼れる助っ人

会計サポーター 知っていますか?

サポート費用無料

日時・場所の指定可能

3回まで継続派遣



・のべ60回にわたりNPO法人会計をサポート!

・サポートしたNPO法人の半数以上が「活動計算書」(※)へ切り替え!

※NPO法改正により、平成24年度から各NPO法人は「活動計算書」による会計報告を義務づけられています

今年、初決算を
迎えるんだけど...

まだ「収支計算書」を
使ってるけど、
どうしたらいいの...

「注記」も作れて
言われたけど、
どういうこと...

事業費と管理費の按分の
仕方がわからない...

何となく不安だから、
とにかく書類を見てほしい...

などなど...

会計サポーターに
お任せください!!



【要項】

申込期間:平成26年3月10日(月)まで

対 象:宮城県内のNPO法人

サポート内容:活動計算書作成業務全般についてのアドバイス(税務関係はサポート対象外)

申込方法:下記問合せ先までTEL、もしくは申込フォーム

(<http://p.tl/Uucl>)に必ず
要事項をご記入ください



主催:宮城県

企画・実施・問合せ先:NPOプラザ法人杜の伝言板ゆるる